

図の上部には、次の文がある。

十八ヶ条御尋之趣

一 此度内匠頭家来 大石内蔵之助を頭取と

して大勢徒党いたし上野の介宅へ推参に

をよひ心のまゝなる狼せきをはたらき不届の

事いかに内蔵之助申わけあるやまつすく

に申ひらくへし内蔵之助つゝしんで御答

申上奉り候私儀主人存生 中家老役

相つとめ候ゆへ 此度頭取 八仕り候へとも徒

党八かつて仕らすとつと申文字八いた

ずらのともからと読申べく私とも儀八

只々主人のうつぶんをはらさんとばかり

にて一致いたす迄に御座候ゆへけつして

徒党にハこれなく候

二 御ひさまとをはゞからす乱法におよひ

不届の事答 上野介様御屋しき 八去年

四月まで八かぢ橋内に御座候ひしか 只今八

本所回向院のうしろ相生町に御座候さす

れバ下総の国葛飾郡にてあなかち御ひ

さ元とのミばかりも申されましく候

三夜討にしのびいり盗ぞくにひとしき

仕方の事答夜中にすいさん仕り候

わけ上野介様御本家より御附人等も

あまたこれあり私とも浪人の身何とて

尋常の勝負いたさるへきや茲を以て夜

分にすいさんいたし本懐をとけ申候

四答火事装束出立火事と呼ハリ候事

答此儀八五十人に近き人数一しよに出立深

更におよび常の形にて八通路なりがたく

火事よと呼ハリ候ハ当然の差略二御座候

五門を打やぶり討入候事此答儀ハ私とも

裏門よりをし入候ゆへ吉良家御家来の衆

中おとろきさハぎ表門の方へ逃行うち

破り候儀にて私共仕業にハ一切御座なく候

六一味同心の者大勢四方をかこミ候由此者

どもいつ方へ立退候や申上べく答私ども

連中四十七人のこらず打入申候ゆへさらに

存申さず候

七一味の者四十七人のミか外にもありや申上

べく答内匠頭家来数多これあり

浪人

後所々へ散乱仕り候ゆへ当時江戸表うちにおり

合候者のミ討入申候

八上野介居間へまいり候やいつ方にて首

を上候や此儀申上べく答御憐家へさかひ

めの土蔵の内にてうち取申候

九倍臣の身として高家職たる上野介

宅へ押入思ふまゝの振舞上を恐れざる事答

主人の為に八親をも捨るいかに高家なればとて

捨て置くだうり捨置道理の候へきやことに慎の仇ともに天

をげんいたゞかざる金言に御座候

十飛道具持参法度をわきまへざる事答

半弓を持参仕候八ばんけへ上野介様足ばや

に立退候事もやと右の用意に御座候

十一 長道具持参法を破る事答 右八吉良

どの御用心ふかき折から御後見も大勢これ

あり一味の者共手馴の道具なられで八もし

残念の儀もあらんかと持参仕候

十二 鳴物持参の事持病にて 音声届かね

候ゆへ 只集参のなる子に用ひまで二三而候

十三 采配を持候儀 逆臣の仕方軍議に近き

仮の一揆に類する事答 主人存生中 私家

老役相勤諸士 を揮指仕り候へバ 長矩より

差免され何方にても 差支 御座なく候

十四 左兵卫佐に手を負せ候由上野介にこそ

怨有べきに親子共討取べき心中の事答

私 悴主税上野介様居間へ 推参仕候せつ長

刀をもつて打かゝり候人これあり 抛なく立向候

〔一行破損解読不可能〕

十五 上野介家来大勢討取ふとゞきの事答 此儀

上野介様御家来主人大事と存られ手づ

よく立向ハれ候ゆへ 抛 なく合手に相成申候去に

よつて 依て止をさしたる死がい言人も御座なく候

十六 上野介屋鋪破逆におよび候事答其儀ハ

裏門より私共押入候て高声に主人の怨敵出あふ

べき由を呼はり 打入申候ゆへ上野介様御家来の方

がたあ八てふためき戸を押破り壁をふみこ八しなどいたされ

諸方へ散乱なされ候ゆへ大破に及候訳私共方にて八決

して破逆いたし候もの言人も御座なく候

十七 一味同心四十七人の外定めて手引の者これ有べし

速に申上べし答右の儀ハ最初此大儀を申合せ候せつ

臆病者のハ一切加入仕らず尚又亡主内匠頭親類

等へハ私共出入の儀一切止められ罷在候に付四十七人の

外手引とつもの者かつハ助力のもの等毛頭御座なく候

十八 いかにも内蔵の助弁を以て能く申開と 去年赤

穂の城引払のせつ心底に任せざることあり又大勢をあつ

むること左右にことよせて乱を招の様子赤穂退散の首尾

公儀へ対し存念これある哉不屈残らず申上べく事答

是ハ又重々恐入奉候私いかでか上を怨奉る存念の是有

べきやよし又怨奉る所存に候へ八其せつ速に城を退去仕

へき只々大勢の奔走いたし候儀八家中の諸士俄かに

主人を失ひ録にはなれ諸方へ退去仕り候ゆへにて

私共儀八只々亡主の仇だる上野介様を討奉るの

外けつして他事御座なく候

小笠原との曰

上野介屋しきへ武具をわすれし八いかに答

これ八失念仕り候にあらず古法にならひ

庭にさしおきしにて扣書是に御座候

一 鎗 一本 一 笛 一 巻かん

一 矢の根八本 一 細引 三筋

一 斧 一本 一 刀 一 巻腰

一 鎗鞘 五表

如此二御座候